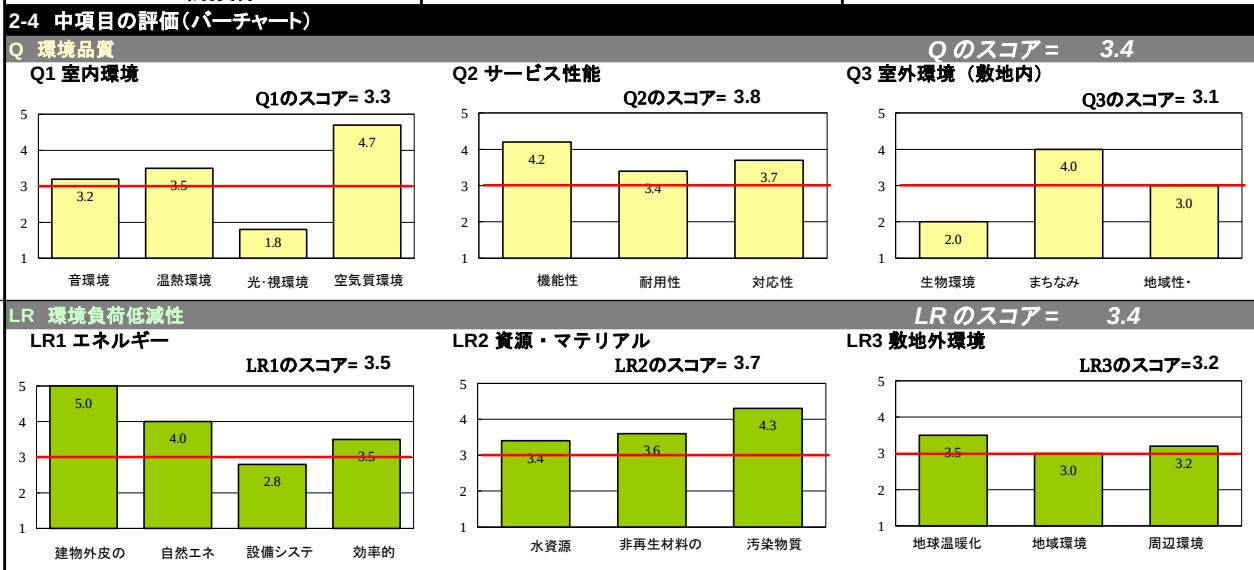
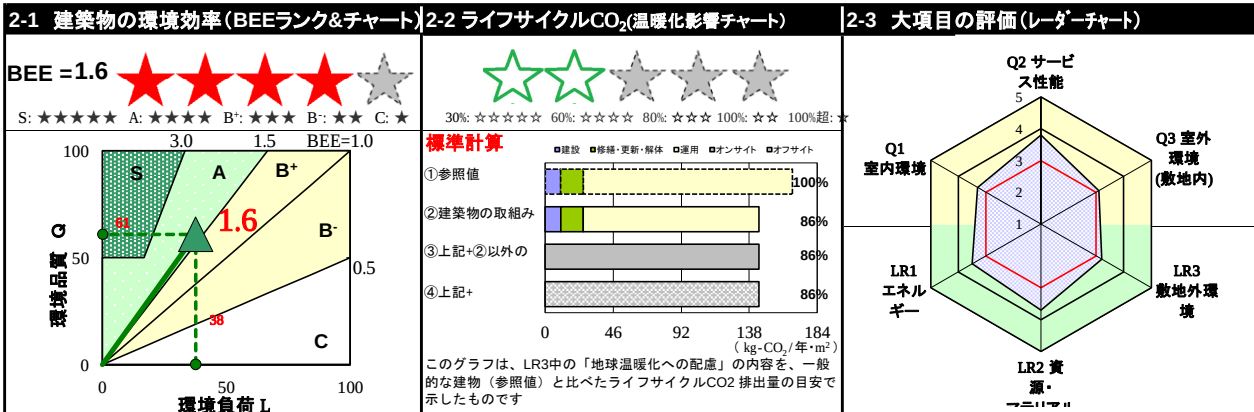


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)関西医科大学附属病院別館増築工事	階数	地上7階、地下1階	
建設地	大阪府枚方市新町	構造	S造	
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2027年8月 予定	評価の実施日	2025年1月30日	
敷地面積	60,749 m ²	作成者	福島寛子	
建築面積	2,716 m ²	確認日	2025年1月31日	
延床面積	17,146 m ²	確認者	村山純二	



3 設計上の配慮事項			その他
総合 急性期大学病院の増築計画という施設特性に合わせて、患者/家族及び医療従事者に配慮した環境配慮を実施した。具体的には、患者/家族に対する快適な療養環境の形成、医療従事者が診療に集中できる室内環境に配慮した。また、災害時にも医療を継続できるように設備バックアップ等の計画を行っている。			
Q1 室内環境 病室は、熱負荷の低減や自然換気が可能な快適な療養環境を形成を目指したに加えて、パンデミック時には全室除圧対応で、院内感染等を引き起こさない感染症病床になる空調管理方式を導入している。	Q2 サービス性能 十分な天井高さを確保した室内空間の確保、メンテナンス性が高く清潔な状態を維持しやすい内装材量の選定し、サービスの高い療養環境の提供に配慮した。また、設備計画の信頼性として、電源引込の二重化、非常電源の確保等といった設備を導入し、災害時及び非常時に対する設備の冗長性に配慮した計画としている。	Q3 室外環境 (敷地内) 淀川沿いの豊かな自然を維持するために、建物の建設範囲を極力小さくするように配慮し、既存の樹木などの生物環境を残すように計画した。また、屋上部分を一部緑化して、熱負荷の低減を図り温熱環境に配慮した計画とした。訪れる人々の憩いの場となっている現状の室外環境の快適さを継承する計画としている。	
LR1 エネルギー 最新の高効率設備機器(空調・換気・照明)の採用などにより、施設全体のエネルギー消費量の削減を考慮した設備計画としている。また、中央監視設備でモニタリングが可能な設備計画とし、検証可能な計画としている。	LR2 資源・マテリアル 節水型の衛生器具の採用、リサイクル材の採用、有害物質を含まない建材の採用等を行う建築・設備計画としている。	LR3 敷地外環境 駐車場を追加計画して台数確保し、十分な滞留長を敷地内に確保することで、近隣への渋滞緩和に寄与する計画としている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)関西医科大学附属病院別館増築工事						
建設地		大阪府 枚方市新町						
用途／区分		病院						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	断熱性能						5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分		評価対象外			評価対象外	
④	エネルギー消費性能						3	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分		評価対象外			評価対象外	
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分					2	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告						報告しない	
-------------	--	--	--	--	--	-------	--

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	3.5	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2. 2 温熱環境悪化の改善	3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制	5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	2.8	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	4.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		